

朝来市多文化共生に係る意識調査結果（自治会）

本市では、外国人市民が年々増加しており、約 500 人の方が地域に暮らしています。外国人市民が増加する中で、日本人市民と外国人市民がお互いを尊重し、より良い関係を築き、外国人市民も地域の一員として共に暮らしていくための多文化共生のまちづくりが必要となります。

この調査は、外国人市民が地域の自治会や地域活動への参画状況等をお聞きし、朝来市多文化共生推進基本方針の策定及び多文化共生に係る施策・事業をより効果的に推進するために実施しました。

★調査時期：令和 7 年 10 月～11 月

★対象者：朝来市内の自治会長（159 区）

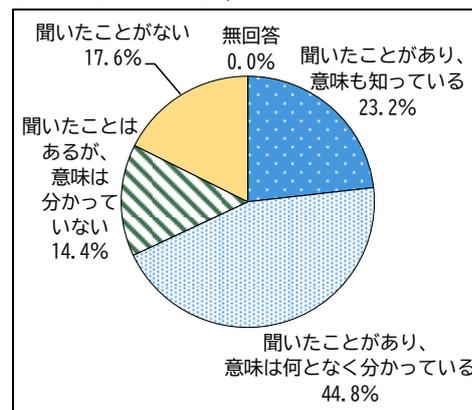
★回答数：125 区（回答率 78.6%）

★担当課：朝来市市民生活部 人権推進課

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

問 1 あなたは多文化共生社会という言葉を知っていますか。（○は 1 つ。n=125）

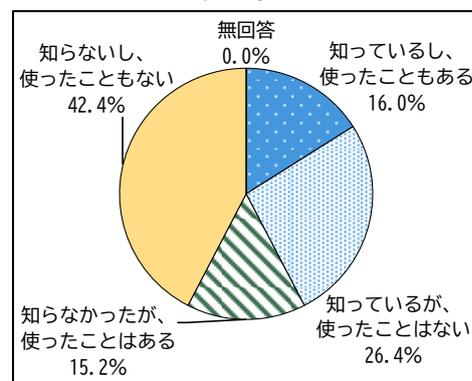
項目	件数(自治会)	割合(%)
聞いたことがあります、意味も知っている	29	23.2%
聞いたことがあります、意味は何となく分かっている。	56	44.8%
聞いたことはあるが、意味は分かっていない	18	14.4%
聞いたことがない	22	17.6%
無回答	0	0.0%
合計	125	100.0%



問 2 あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。また使ったことがありますか。

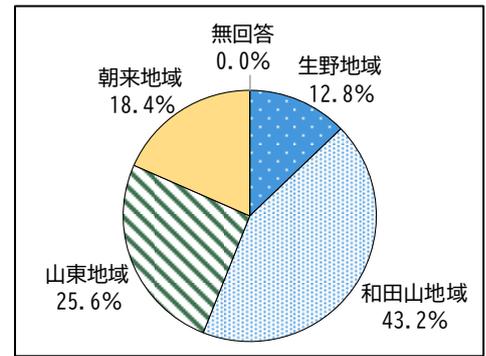
（○は 1 つ。n=125）

項目	件数(自治会)	割合(%)
「やさしい日本語」を知っているし、使ったこともある	20	16.0%
「やさしい日本語」という言葉は知っているが、使ったことはない	33	26.4%
「やさしい日本語」という言葉は知らなかったが、使ったことはある	19	15.2%
「やさしい日本語」という言葉を知らないし、使ったこともない	53	42.4%
無回答	0	0.0%
合計	125	100.0%



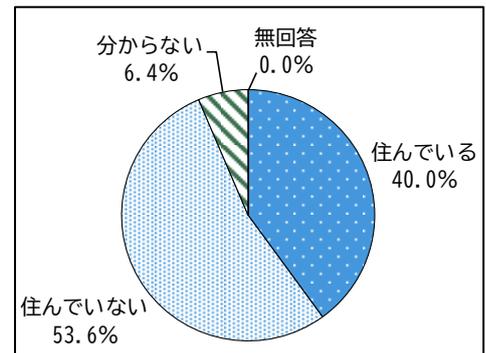
問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つ。n=125)

項目	件数(自治会)	割合(%)
生野地域	16	12.8%
和田山地域	54	43.2%
山東地域	32	25.6%
朝来地域	23	18.4%
無回答	0	0.0%
合計	125	100.0%



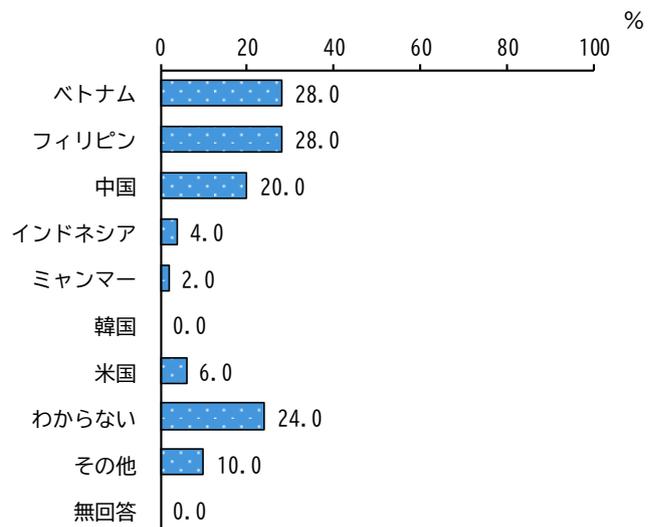
問4 貴区域内に外国人市民が住んでいますか。(○は1つ。n=125)

項目	件数(自治会)	割合(%)
住んでいる	50	40.0%
住んでいない	67	53.6%
分からない	8	6.4%
無回答	0	0.0%
合計	125	100.0%



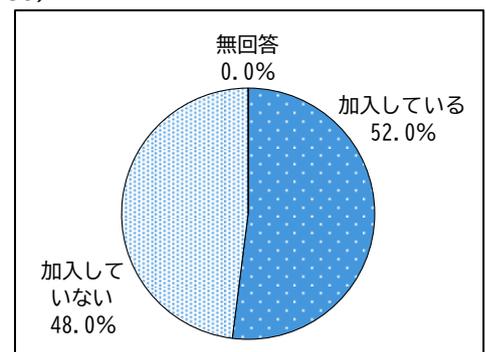
問5 問4で、「住んでいる」を選んだ場合にお答えください。外国人市民の方の出身国はどこですか。(○はいくつでも。n=50)

項目	件数(自治会)	割合(%)
ベトナム	14	28.0%
フィリピン	14	28.0%
中国	10	20.0%
インドネシア	2	4.0%
ミャンマー	1	2.0%
韓国	0	0.0%
米国	3	6.0%
わからない	12	24.0%
その他	5	10.0%
無回答	0	0.0%



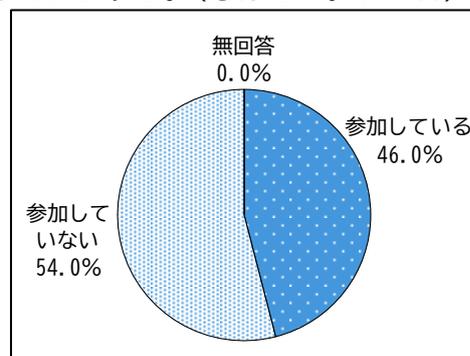
問6 外国人市民が自治会に加入していますか。(○は1つ。n=50)

項目	件数(自治会)	割合(%)
加入している	26	52.0%
加入していない	24	48.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100.0%



問7 貴自治会に住む外国人市民が自治会活動や交流活動に参加していますか。(○は1つ。n=50)

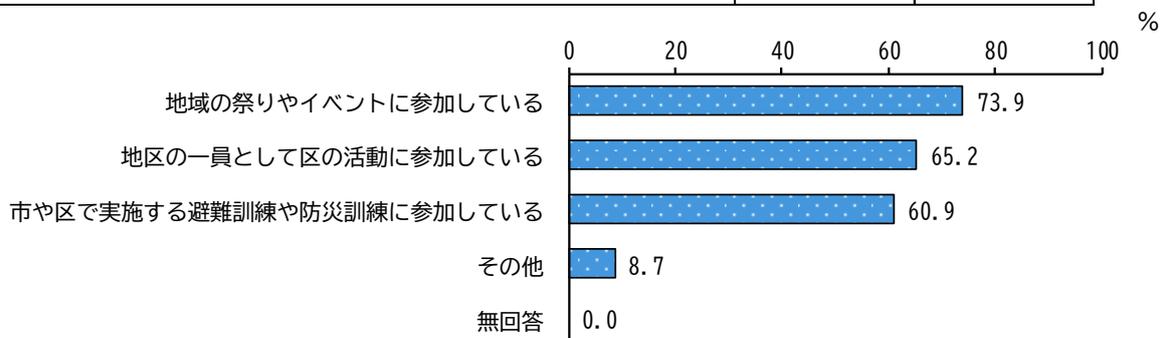
項目	件数(自治会)	割合(%)
参加している	23	46.0%
参加していない	27	54.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100.0%



問8 問7で、「参加している」を選んだ場合にお答えください。それはどんな活動ですか。

(○はいくつでも。n=23)

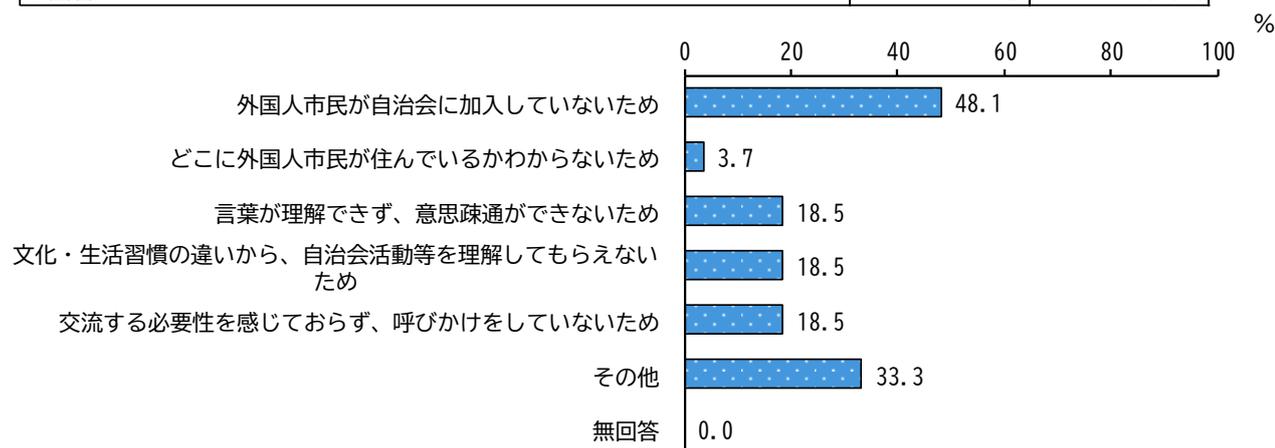
項目	件数(自治会)	割合(%)
地域の祭りやイベントに参加している	17	73.9%
地区の一員として区の活動に参加している	15	65.2%
市や区で実施する避難訓練や防災訓練に参加している	14	60.9%
その他	2	8.7%
無回答	0	0.0%



問9 問7で、「参加していない」を選んだ場合にお答えください。参加していない理由について、教えてください。

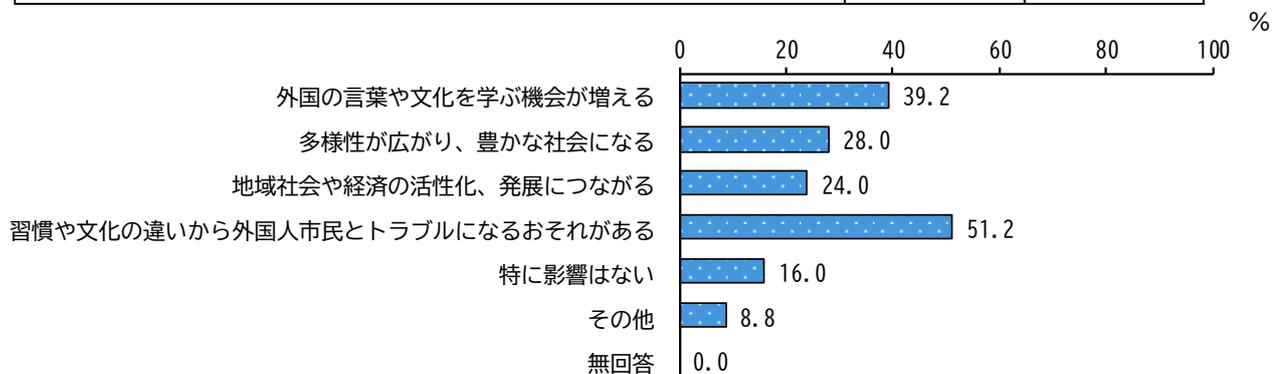
(○はいくつでも。n=27)

項目	件数(自治会)	割合(%)
外国人市民が自治会に加入していないため	13	48.1%
どこに外国人市民が住んでいるかわからないため	1	3.7%
言葉が理解できず、意思疎通ができないため	5	18.5%
文化・生活習慣の違いから、自治会活動等を理解してもらえないため	5	18.5%
交流する必要性を感じておらず、呼びかけをしていないため	5	18.5%
その他	9	33.3%
無回答	0	0.0%



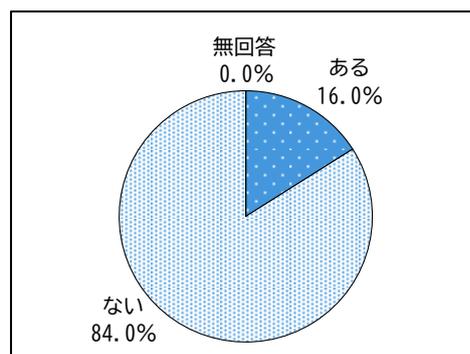
問 10 貴自治会の地域に外国人市民が増えることについてどう思いますか。(○はいくつでも。n = 125)

項目	件数(自治会)	割合(%)
外国の言葉や文化を学ぶ機会が増える	49	39.2%
多様性が広がり、豊かな社会になる	35	28.0%
地域社会や経済の活性化、発展につながる	30	24.0%
習慣や文化の違いから外国人市民とトラブルになるおそれがある	64	51.2%
特に影響はない	20	16.0%
その他	11	8.8%
無回答	0	0.0%



問 11 貴自治会において、外国人市民に関することで困っていること（または過去に困った経験）、地域住民からの意見や苦情等がありますか。(○は1つ。n = 125)

項目	件数(自治会)	割合(%)
ある	20	16.0%
ない	105	84.0%
無回答	0	0.0%
合計	125	100.0%

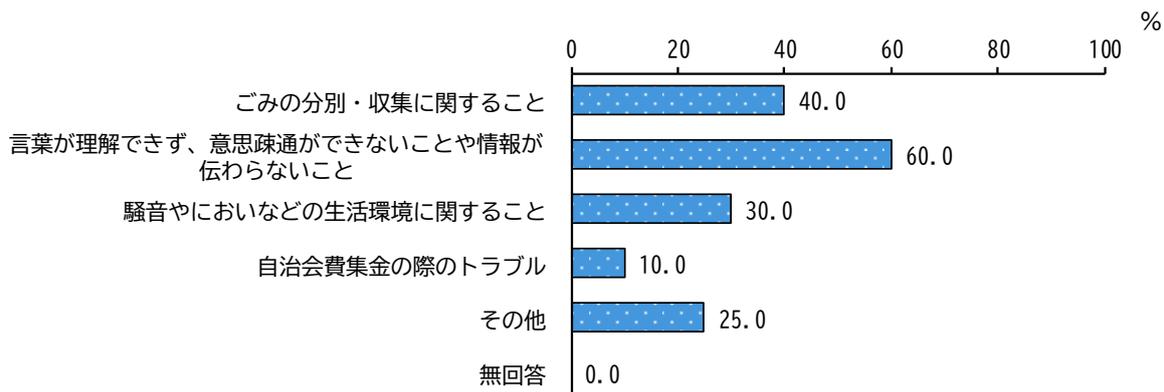


問 12 問 11 で、「ある」を選んだ場合にお答えください。それはどのような内容ですか。

(○はいくつでも。n = 20)

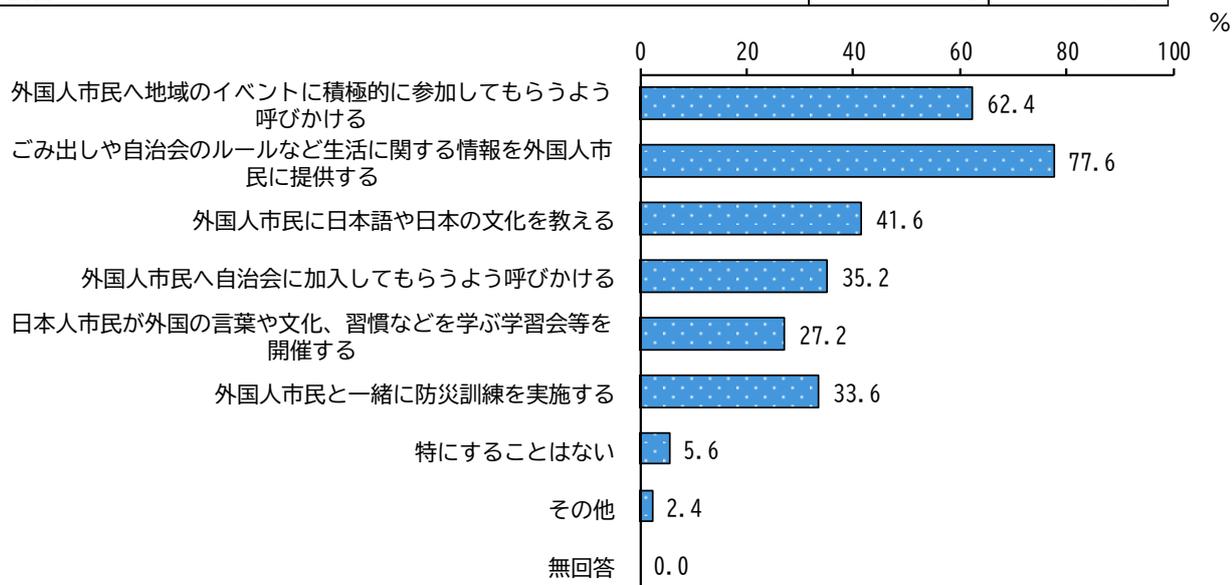
項目	件数(自治会)	割合(%)
ごみの分別・収集に関すること	8	40.0%
言葉が理解できず、意思疎通ができないことや情報が伝わらないこと	12	60.0%
騒音やにおいなどの生活環境に関すること	6	30.0%
自治会費集金の際のトラブル	2	10.0%
その他	5	25.0%
無回答	0	0.0%

その他意見
・ 自宅の周りをきれいにしない。 草引きをしない
・ あまり交流がない
・ ものの考え方が違う、生活習慣
・ 自治会費をおさめてくれない



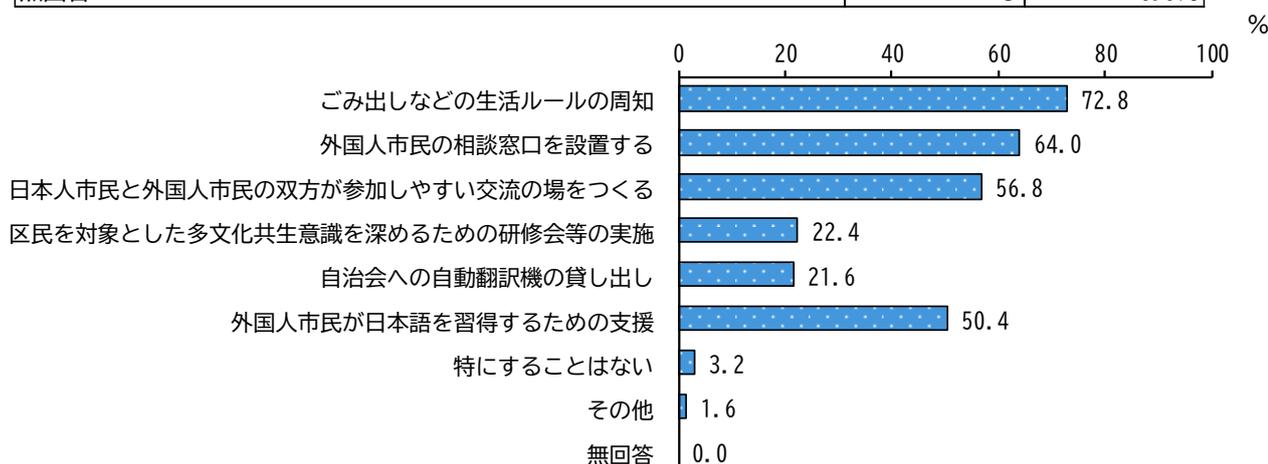
問 13 地域の外国人市民、日本人市民が共に安心して暮らすことができ、活躍できる社会の実現に向けて、自治会はどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも。n=125)

項目	件数(自治会)	割合(%)
外国人市民へ地域のイベントに積極的に参加してもらうよう呼びかける	78	62.4%
ごみ出しや自治会のルールなど生活に関する情報を外国人市民に提供する	97	77.6%
外国人市民に日本語や日本の文化を教える	52	41.6%
外国人市民へ自治会に加入してもらうよう呼びかける	44	35.2%
日本人市民が外国の言葉や文化、習慣などを学ぶ学習会等を開催する	34	27.2%
外国人市民と一緒に防災訓練を実施する	42	33.6%
特にすることはない	7	5.6%
その他	3	2.4%
無回答	0	0.0%



問 14 地域の外国人市民、日本人市民が共に安心して暮らすことができ、活躍できる社会の実現に向け、市の取組として期待すること何ですか。(〇はいくつでも。n=125)

項目	件数(自治会)	割合(%)
ごみ出しなどの生活ルールの周知	91	72.8%
外国人市民の相談窓口を設置する	80	64.0%
日本人市民と外国人市民の双方が参加しやすい交流の場をつくる	71	56.8%
区民を対象とした多文化共生意識を深めるための研修会等の実施	28	22.4%
自治会への自動翻訳機の貸し出し	27	21.6%
外国人市民が日本語を習得するための支援	63	50.4%
特にすることはない	4	3.2%
その他	2	1.6%
無回答	0	0.0%



問 15 多文化共生の地域づくりに関してのご意見・提案など、ご自由にお書きください。(抜粋)

- ・ 地区内に特養、ケアハウス、グループホームがあるが、行政区は別のため今回の回答は外国人市民は住んでいないとしたが、施設には現在6名の実習生がおられます。現実には、区内で出会う機会もあり今後は、交流する方向で考えており、多文化共生の地域づくりを意識しながら進めていく必要があると考えています。
- ・ 現在のところ、目立った事例は無いが、将来的に発生することが予想されますので、対策は必要かと思えます。
- ・ 朝来市では過去にどんな取り組みをしたか、結果どうだったか、今後どのようにするかなどの情報が不足しているように思われます。私が知らないだけかも知れませんが。
- ・ お互いを知ることが相互理解につながるので、そうした機会を作る努力が必要。
- ・ これから、ますます外国人労働者が増えて来ますが、地域住民と交流の場を設け、日本の文化、言葉を習得して日本、自国、家族、自分のために貢献できるよう勉学に取り組んでいただきたい
- ・ 7月の参議院選挙で外国人差別をあおる勢力が票を伸ばしましたが、こうした流れが差別や分断を大きくしていないか心配しています。多くの場合、相手を理解しようとしなない思い込みと事実に基づかないデマのようです。市としてもヘイトは暴力であることや事実かフェイクかを自分の目で見きわめていくことが大切だと呼びかけていってほしいと思います。
- ・ 他区では騒音など市民生活に害をあたえる事業所もある。十分な指導等を行うべきではないか。
- ・ 多文化共生の地域づくりについては必要性を感じていますが、デメリットとして自治会のごみ出しなどの生活ルール違反やトラブル、犯罪防止対策とし、防犯カメラの設置を各地域の公民館に要望します。尚、この取り組みは既に朝来市では行われていますが、市として設置（自治会にまかせるのではなく）する時期に来ているのではないのでしょうか。ご検討宜しくお願いします。
- ・ 少子高齢化に伴い、人口の減少が様々な問題の原因になっている現状。外国人市民に頼ることが必要となりつつあります。多文化共生社会の実現は今後益々必須となってくると思われます。
- ・ 日本語を喋る世話人（外国人）を雇用して相談可能にする。
- ・ 以前の会社で外国人実習生を受け入れていたが、お互いが文化の違いを理解する必要がある。交通ルールは、よく教えないと危険です。様々な交流の場を設け（食事、遊びも含め）打ち解ける事が大事。仕事は日本人より頑張っていました。
- ・ ゴミ出しのルールについては、地区の住民でも理解していない人がいるのに外人にはちょっと無理かなと思います。（アパートに居住）
- ・ 区内でふれあう機会、場所等への取り組みを進めていくことが必要かと。
- ・ 特別扱いしなくてもよい。知識を持った人のみ居住出来るしくみを考えていただきたい。
- ・ 個人の性格または生まれ育った環境又は国が何もなくスムーズに行くはずもなく、大小の問題は起こるでしょうね。大きな事にならなければいいんじゃないですか。
- ・ 外国人として見てしまうが、一つの個性に過ぎない。しかし、今あるルールには従って頂くこと。徐々にルール変更は、日本人だけでも行っている事だから、話し合いで決める等、全く外国人だからと気を使う必要はない。私達のルール、風習はこうだ！とそこに持ち込んで来るのはそもそも日本人でも許されない。許してもいけない。
- ・ 意思疎通が円滑にできるように努力はしているつもり。時間をかけてもやるしかないか。